

進路について

進路部

1 本校の進路指導について

☆指導方針…将来の進路実現に向けて3年間を見通した一貫性のある指導計画に従い、生徒の進路意識の向上と自己実現能力の育成に努める。また、多様化する入試に対応できる学力を身につけさせる。

◎各学年の指導指針と進路関係行事（行事は今後日程が変更になる場合があります）

[1 年]

- ・高校生活の目標を立てる。（自律的な生活習慣と自立的な学習習慣の確立）
- ・学習活動を充実させ、学力向上を図る。（予習、授業、復習の学習サイクルの確立）
- ・進路研究を通して自己理解を深め、早期に進路目標を設定する。（職業観の育成と文理選択）
- ・校内実力テスト・校外模試を活用する。（目標を持ち、反省し、実行する）

〈進路関係行事予定〉

自立学習講座（4/12）	進路希望調査（4月、9月）
下校時刻後の自主学習（4/13～3月末）	土曜課外（全員 年7回）
夏休み前期課外（全員 7/26～29）	夏休み後期課外（全員 8/17・18・20）
<u>文理選択（2学期）</u>	キャリア講演会、進路ガイダンス
校内実力テスト（6/3、11/8、1/20）	校外模試（7/3、10/30、1/15）
スタディサポート（3/12）	

[2 年]

- ・職業研究と上級学校の特色・内容の研究をする。
- ・自己理解を深める。（自己の個性・適性、進路を考える）
- ・将来の目標の設定と目標実現のための課題の検討をする。（進路目標、学習計画の再検討）
- ・学習活動を充実させ、学力向上を図る。
（学習時間の確保と予習、授業、復習の学習サイクルの確立）
- ・校内実力テスト・校外模試を活用する。（目標を持ち、反省し、実行する）

〈進路関係行事予定〉

進路希望調査（4月、9月）	下校時刻後の居残り学習（4/12～3月末）
土曜課外（全員 年8回）	出張講義（7/7）
夏休み前期課外（全員 7/26～29）	夏休み後期課外（全員 8/17・18・20）
<u>文型文I・文II選択（2学期）</u>	進路講話（10/27）
校内実力テスト（6/3、11/8・9、1/20・21）	校外模試（7/3、10/29・30、1/14・15、1/28・29）

[3 年]

- ・進路を決定する。（進学・就職、志望大学・学部の決定等）
- ・進路実現に備えて、学力の充実を図る。
- ・校内模試・校外模試を活用する。（目標を持ち、反省し、実行する）

〈進路関係行事予定〉

進路希望調査（4月、9月）	下校時刻後の居残り学習（4/12～2月上旬）
放課後・土曜課外（4月～特別学習期間まで）	3年保護者会（6/24）
夏休み前期課外（全員 7/26～29）	夏休み後期課外（全員 8/17・18・20）
<u>大学入学共通テストの出願（9月下旬～）</u>	大学説明会（10/27）
面接指導 小論文指導 三者懇談 大学入学共通テスト結果の分析 特別時間割	
校内模試（6/3・4、11/8・9）	基礎学力到達度テスト（8/23）
校外模試（全員 4/16・17、5/28・29、7/2・3、9/10・11、10/10、10/15・16、10/22・23）	
校外模試（希望者 全統マーク 8/8、全統記述 8/29 共通テストプレテスト 11/21、 <u>校内共通テストプレテスト 12/27・28（帝京大学で実施）</u>	
そのほか、駿台模試、模試等随時紹介)	

2 本校の進路状況

卒業年	R3年	R2年	H31年	H30年	卒業年	R3年	R2年	H31年	H30年
卒業生数	315	314	308	317	国公立大	78	62	69	69
進学者数	291	297	286	293	私立大	194	213	203	207
就職者数	1	3	0	0	短大	5	2	5	5
その他	23	14	22	24	各種・専門学校	14	20	9	12
現役進学率	92.4%	94.6%	92.9%	92.4%	公務員	0	2	0	0

(表は進路実数)

令和3年3月卒業生の国公立大の合格者数は計82名(過年度生3名を加えると85名)であった。今まで最多は平成27年度入試の88名(他に過年度5名)である。地元宇都宮大学の合格者は30名(他に過年度1名)となり、過去最多の人数となった。現役生82名のうち、推薦・AO合格者は14名、一般選抜合格者の内訳は前期58名、中・後期は5名、独立日程5名であった。また、文理別では文系クラス28名、理系クラス54名であった。クラス編成は文系4クラス、理系4クラスである。

一方、私立大学は、定員の厳格化の要素からきた難化傾向は落ち着いたものの、難易度は高止まりしている感があり、昨年同様に苦戦した。難関私大・マーチクラスの合格者は一昨年30名と比べ、昨年は18名、今年は16名と難化の様子を示しており、コロナ禍の影響は少なかった。理系生徒の多くが受ける芝浦工大・東京電機大・工学院大の工学部系は首都圏の工学部人気の高まりもあり、今年も厳しい結果となった。特に情報系は難化が著しくなっている。文系の多くの生徒が受験する日東駒専等の大学では、コロナ禍の影響もあり、志願者数が減少し昨年よりやや合格しやすくなったように感じられたが、滑り止め大学と考えていた学校でも不合格となる生徒も出た。特に国公立大の滑り止めと考え私大を安易に受験した生徒が不合格の洗礼を受けた。もっと赤本等を活用して私大特有の問題に慣れる必要性を強く感じた。基礎基本を確実にしておかなかった生徒、誠実に勉強しなかった生徒には厳しい結果だった。また、別件であるが、今年度も3月末に多くの追加合格があった。定員厳格化の影響が様々な形で現れており、事前に各ご家庭において、お子様とよく話し合い、様々なケースのシミュレーションをしていただくことが必要と思われる。

専門学校に進学する生徒は数年前まではほぼ20名台で推移していたが、近年はやや減少傾向である。過去の専門学校受験者の多くは女子の看護系であったが、今年度は医療系は3名に減少し、多様な専門学校への受験が見られた。今年は男子2名、女子12名が専門学校に進学した。大学にこだわらず将来を見据えた選択と思われる。

3 保護者の皆様へお願い

○学校(特に担任)との連絡を密に

- ・お子様に関して気がかりな点、学校への要望等がありましたら、いつでも遠慮なく担任に相談してください。

○お子様の基本的な生活習慣の確立にご協力を

- ・生活のリズムを崩し、欠席・遅刻・早退が多くならないよう、健康管理にご協力ください。

○今の時期にやるべき事は学力の向上

- ・学力養成は入試の対策であることはもちろんですが、精神力をも鍛えます。人間力養成のために、家庭学習の習慣化にご協力ください。

○大学入学共通テスト受験について

- ・全員の生徒に大学入学共通テストを受験するよう指導しています。1月中旬に共通テストは行われますが、9月下旬に出願します。したがって、ほとんどの生徒の進路が未定ですので、受験機会を確保しておきたいと考えております。最近では、国公立大はもとより9割を超える私立大、さらに短大の一部も参加しています。

○保護者のチェックポイント

- ・お子様が志望する大学の卒業後の進路は、お子様の考える将来につながっていますか？
お子様に、自己実現のための進路先を検討させてください。

※ お子様の直面している問題をともに考え、助言し、励ましてくださるようお願いいたします。